



## ゲスト アカウムの作成

---

- [スポンサー ポータルの \[アカウントの作成 \(Create Accounts\)\] ページ \(1 ページ\)](#)
- [既知のゲスト アカウムの作成, on page 1](#)
- [ランダム ゲスト アカウムの作成, on page 2](#)
- [ゲスト アカウムのインポート, on page 4](#)
- [ゲスト パスワードのプライバシー \(6 ページ\)](#)
- [アカウント設定の作成 \(7 ページ\)](#)

## スポンサー ポータルの [アカウントの作成 (Create Accounts)] ページ

[アカウントの作成 (Create Accounts)] ページを使用して、次の承認された訪問者のアカウントを作成できます。

- 姓、電子メールアドレス、電話番号などの個人情報を使用できるゲスト。
- 個人情報を使用できないゲスト、または複数のアカウントをすぐに作成する必要がある場合のゲスト。
- インポート可能なファイル形式で外部データベースで情報を使用できるゲスト。

## 既知のゲスト アカウムの作成

個人情報を使用できるゲストのための個別アカウントを 1 アカウントずつ作成できます。

**ステップ 1** [アカウントの作成 (Create Accounts)] ページで、[既知 (Known)] をクリックします。

システム管理者は、このページにどのフィールドを表示するか、およびゲストアカウントを作成する場合にどのフィールドを必須とするかを設定します。一部のフィールドは必須 (\*が付いている) で、変更可能なデフォルトの情報が表示されます。

**ステップ2** ゲストに割り当てる [ゲストタイプ (Guest Type)] を保持または更新します。

さまざまなゲストのタイプとそのアクセス権限は、システム管理者が定義します。

選択したゲストタイプについて、ゲストがネットワークに同時に接続できるデバイスの最大数、およびネットワークアクセスの最大時間が表示されます。

**ステップ3** 表示されていて必要な場合は、ゲストの個人情報（ユーザー名を作成するための姓、名、または電子メールアドレスなど）を入力します。

入力した個人情報は、ユーザー名の生成に使用されます。入力しない場合、ユーザー名はシステム管理者が設定したユーザー名ポリシーに従ってランダムに生成されます。

**ステップ4** 必要に応じて必須設定のデフォルトを保持または更新し、その他のフィールドに情報を入力します。

システム管理者は、[言語 (Language)]、[SMSプロバイダ (SMS Provider)]、[場所 (Location)]、[SSID] に対して複数選択を設定できます。ただし、選択肢が1つのみ指定されている場合、それは表示されず、ゲストアカウントを作成するときに自動的に割り当てられます。アカウントが作成された後、ゲストアカウント詳細でこの選択を確認できます。

**Note** アカウント期間を設定する場合、定義する開始時刻および終了時刻は、選択した場所のタイムゾーンで適用できます。

**ステップ5** [作成 (Create)] をクリックして、ゲストアカウントを作成します。

[アカウント情報 (Account Information)] ダイアログボックスに、ゲストユーザー名およびパスワードを含むアカウント詳細が表示されます。

---

### What to do next

これらの機能を使用できる場合は、ゲストに対してアカウント詳細を電子メールまたは印刷で通知できます。また、システム管理者がこの機能を有効にしている場合は、ゲストにアカウント詳細をテキストメッセージで通知することもできます。

### Related Topics

[ゲストパスワードのプライバシー](#) (6 ページ)

[アカウント設定の作成](#) (7 ページ)

## ランダムゲストアカウントの作成

今後の使用に備えて、複数のランダムゲストアカウントのセットを事前に作成し、詳細を個別に記録し、システムに保存しておくことができます。たとえば、ユーザーが、定期的にゲストアカウントを配布する必要がある Lobby Ambassador である場合、これらの一般的なランダムに作成されたアカウントを使用することで時間を節約できます。

---

**ステップ1** [アカウントの作成 (Create Accounts)] ページで、[ランダム (Random)] をクリックします。

システム管理者は、このページにどのフィールドを表示するか、およびゲストアカウントを作成する場合にどのフィールドを必須とするかを設定します。一部のフィールドは必須（\*が付いている）で、変更可能なデフォルトの情報が表示されます。

**ステップ 2** ゲストに割り当てる [ゲスト タイプ (Guest Type)] を保持または更新します。

さまざまなゲストのタイプとそのアクセス権限は、システム管理者が定義します。

選択したゲスト タイプについて、ゲストがネットワークに同時に接続できるデバイスの最大数、およびネットワーク アクセスの最大時間が表示されます。

**ステップ 3** 作成する [アカウントの数 (Number of Accounts)] を入力します。

表示される一度に作成可能なランダム ゲスト アカウントの最大数は、システム管理者が設定します。

**ステップ 4** システム管理者による設定に基づいて、各アカウント名に追加する、事前定義された [ユーザー名のプレフィクス (Username Prefix)] を入力、編集、または使用できます。

ユーザー名の残りの部分は、システム管理者が設定したユーザー名ポリシーに従ってランダムに生成されます。

**ステップ 5** 必要に応じて必須設定のデフォルトを保持または更新し、その他のフィールドに情報を入力します。

システム管理者は、[言語 (Language)]、[場所 (Location)]、[SSID] に対して複数選択を設定できます。ただし、選択肢が 1 つのみ指定されている場合、それは表示されず、ゲストアカウントを作成するときに自動的に割り当てられます。アカウントが作成された後、ゲストアカウント詳細でこの選択を確認できます。

**Note** アカウント期間を設定する場合、定義する開始時刻および終了時刻は、選択した場所のタイムゾーンで適用できます。

**ステップ 6** [作成 (Create)] をクリックして、指定された数のランダム ゲスト アカウントを作成します。

次のものを作成した場合：

- 50 未満のランダム アカウント：[アカウント情報 (Account Information)] ダイアログ ボックスに、作成した複数のアカウントに対してランダムに生成されたユーザー名とパスワードが表示されます。
- 50 を超えるランダムアカウント：メッセージによって、アカウントがバックグラウンドで作成され、[通知 (Notices)] ページで動作ステータスを確認することが通知されます。

### What to do next

ランダム ゲスト アカウントを生成する場合、電子メールアドレスや電話番号などのゲスト情報はありません。アカウント詳細を印刷し、ゲストに手動でログインクレデンシャルを配信できます。50 を超えるアカウントを作成した場合、[通知 (Notices)] ページで特定の通知を開き、最大 50 アカウントのアカウント詳細を表示します。作成したすべてのアカウントを確認するには、[アカウントの管理 (Manage Accounts)] ページに移動します。

### Related Topics

[ゲストパスワードのプライバシー](#) (6 ページ)

アカウント設定の作成 (7 ページ)

## ゲストアカウントのインポート

企業が外部データベースまたはファイルの承認された訪問者に対するアカウント情報を維持している場合、これらのユーザーの情報をスポンサー ポータルにインポートしてゲストアカウントを作成できます。アカウント情報が含まれるファイルは.csv ファイル形式である必要があります。これをスポンサー ポータルが解析し、ファイル内の各エントリに対して新規ゲストユーザーアカウントを作成します。

### Before you begin

- ゲストアカウント情報のインポートに必要な権限を持っているかを確認します。
- モバイルデバイス (Apple iOS、Android などが実行されているデバイス) からゲストアカウント情報をインポートすることはできません。このため、アカウント情報をインポートする場合は、必ずデスクトップデバイス (Apple OSX、Windows などが実行されているデバイス) を使用します。

ユーザー名とパスワードをインポートできますが、それらの行はダウンロード時に CSV テンプレートに追加されていません。これらの見出しを追加できます。ISE がコンテンツを認識するために、列の名前を正しく指定する必要があります。

- **ユーザー名** : **User Name** または **UserName** のいずれかを指定します。
- **パスワード** : **password** にする必要があります。

---

**ステップ 1** [アカウントの作成 (Create Accounts)] ページで、[インポート (Import)] をクリックします。

システム管理者は、このページにどのフィールドを表示するか、およびゲストアカウントを作成する場合にどのフィールドを必須とするかを設定します。一部のフィールドは必須 (\*が付いている) で、変更可能なデフォルトの情報が表示されます。

**ステップ 2** ゲストに割り当てる [ゲストタイプ (Guest Type)] を保持または更新します。

システム管理者が、各種のゲストのタイプとそのアクセス権限を定義します。

選択したゲストタイプについて、ゲストがネットワークに同時に接続できるデバイスの最大数、およびネットワークアクセスの最大時間が表示されます。

**ステップ 3** [テンプレートのダウンロード (Download Template)] をクリックしてインポートファイルに使用するテンプレートを取得します。ファイルをインポートする前に、ファイルが必須の構造に準拠していることを確認します。

テンプレートファイルで、[携帯電話番号 (Mobile number)] 列の形式を更新して、プラス記号 (+) が保持されるようにします。後でテンプレートを編集する場合でも、必要な形式が適用されていることを確認します。次の手順を実行します。

- a. ダウンロードしたテンプレートファイルで、[携帯電話番号 (Mobile number)] 列を選択します。
- b. 選択した列の任意の場所を右クリックします。
- c. [セルの書式設定 (Format Cells)] を選択します。
- d. [番号 (Number)] タブで、[カスタム (Custom)] を選択します。
- e. [タイプ (Type)] テキストボックスで、[一般 (General)] を削除し、+0 と入力します。
- f. [OK] をクリックします。

**ステップ 4** [参照 (Browse)] をクリックして、ゲストアカウントの作成に必須のゲスト情報が含まれる .csv ファイルを検索して選択します。

**Note** .csv ファイルに英語以外の文字が含まれる場合は、ファイルをインポートする前に UTF-8 文字エンコーディングを有効にします。UTF-8 文字エンコーディングが有効になっていないと、英語以外の文字が正しく解析されません。

**ステップ 5** 必要に応じて必須設定のデフォルトを保持または更新し、その他のフィールドに情報を入力します。システム管理者は、[言語 (Language)]、[場所 (Location)]、[SSID] に対して複数選択を設定できます。ただし、選択肢が 1 つのみ指定されている場合、それは表示されず、ゲストアカウントを作成するときに自動的に割り当てられます。アカウントが作成された後、ゲストアカウント詳細でこの選択を確認できません。

**Note** アカウント期間を設定する場合、定義する開始時刻および終了時刻は、選択した場所のタイムゾーンで適用できます。

**ステップ 6** [インポート (Import)] をクリックして、外部データベースまたはファイルからアカウント情報をインポートします。メッセージによって、アカウントがバックグラウンドで作成され、[通知 (Notices)] ページで動作ステータスを確認することが通知されます。

### What to do next

これらの機能を使用できる場合は、ゲストに対してアカウント詳細を電子メールまたは印刷で通知できます。また、システム管理者がこの機能を有効にしている場合は、ゲストにアカウント詳細をテキストメッセージで通知することもできます。

[通知 (Notices)] ページで、特定の通知を開き、最大 50 アカウントのアカウント詳細を表示します。50 を超えるアカウントをインポートした場合は、[アカウントの管理 (Manage Accounts)] ページに移動して、作成されたすべてのアカウントを表示します。

### Related Topics

[ゲストパスワードのプライバシー](#) (6 ページ)

[アカウント設定の作成](#) (7 ページ)

## ゲストパスワードのプライバシー

企業のネットワークおよび内部リソースにアクセスする必要がある、承認された訪問者のためのゲストアカウントを作成できます。既知のゲストやランダムな複数のゲストのセットのためのアカウントを作成するか、または外部データベースからゲストアカウントのバッチをインポートすると、Cisco ISEによって、これらのアカウントのパスワードが生成されます。

システム管理者が必要な権限を設定したユーザーは、次の場合に、これらのシステムで生成されたパスワードを表示できます。

- 各アカウントのアカウント詳細でゲストアカウントを管理する場合。
- ゲストに通知する際にアカウント詳細を通知することを選択している場合。

ただし、パスワード変更を許可されているゲストが、ゲストポータルにログインした後にパスワードを変更した場合、そのパスワードはプライベートと見なされ、表示できなくなります。

ゲストがパスワードを変更した後、忘れた場合は、ゲストにパスワードを再送信することはできません。ゲストのパスワードをランダムパスワードにリセットし、新しいパスワードをゲストに通知する必要があります。

## アカウント設定の作成

ゲストアカウントを作成する際に、デフォルトをそのまま使用するか、これらの設定を変更できます。システム管理者は、情報を入力する必要がある追加設定を有効にすることができます。

表 1: アカウント設定の作成

フィールド	使用上のガイドライン
ゲストタイプ (Guest Type)	

フィールド	使用上のガイドライン
	<p>ユーザーが作成しているアカウントのゲストタイプを選択します。システム管理者が1つのゲストタイプのみを設定した場合、ゲストアカウントの作成に使用できるのはこのタイプのみとなります。</p> <p>Cisco ISE には、適切なネットワークアクセス権限にゲストをマッピングするための、次のデフォルトゲストタイプが含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [毎日 (Daily)] : デフォルト設定で、ゲストは1～5日間ネットワークにアクセスできます。</li> <li>• [毎週 (Weekly)] : デフォルト設定で、ゲストは数週間ネットワークにアクセスできます。</li> <li>• [コントラクタ (Contractor)] : デフォルト設定で、ゲストは最大1年間ネットワークにアクセスできます。</li> </ul> <p>システム管理者は、このリストを制限したり、追加のゲストタイプを作成したりすることができます。</p> <p>システム管理者は、ゲストタイプを [ゲストにゲストポータルをバイパスを許可 (Allow guest to bypass the Guest portal)] に設定できます。この場合、このゲストタイプを使用して作成されたゲストアカウントは自動的に有効になり、ゲストが Cisco ISE Web ポータルにまだログインしていなくても、その状態は [アクティブ (Active)] として表示されます。このオプションが設定されていない場合、ゲストが Web ポータルに実際にログインし、初期状態が [作成済み (Created)] として表示されるまで、アカウントは有効になりません。</p>



フィールド	使用上のガイドライン
SMSプロバイダ (SMS Provider)	<p>このフィールドは、システム管理者によって複数のSMSプロバイダが選択用に設定されている場合にのみ表示されます。1つのプロバイダのみが設定されている場合、スポンサーポータルに使用できるオプションは1つのみであるため、表示されません。</p> <p>ゲストの携帯電話プロバイダがわかっており、[SMS プロバイダ (SMS Provider)] の下に表示される場合は、それを選択し、SMS 通知をログインクレデンシャルとともにゲストに送信します。携帯電話プロバイダが表示されない場合は、表示されているデフォルトのグローバルプロバイダを選択します。デフォルトのグローバルプロバイダを使用する場合は、ゲストの電話番号の国番号が含まれます。サポートされる電話番号の形式には、+1 ### ####、###-###-####、(###) ### ####、#####、1##### などがあります。</p>
グループタグ (Group Tag)	<p>トラッキングや検索のために、特定のゲストアカウントをグループ化します。たとえば、特定の場所でのトレーニングに参加するすべてのゲストにタグを割り当てることができます。ゲストを検索して、トレーニングが時間内に終了しなかった場合にアカウント有効期間を延長したり、トレーニングの終了後にアカウントを削除したりすることができます。</p>
参照先 (Location)	<p>このフィールドは、システム管理者によって複数の場所が選択用に設定されている場合にのみ表示されます。1つの場所のみが設定されている場合、スポンサーポータルに使用できるオプションは1つのみであるため、表示されません。</p> <p>ゲストアカウントに使用する場所を選択します。ゲストに適用するタイムゾーンを決定します。また、そのアカウントに適用する有効な時間範囲およびその他の時間パラメータを定義するのに役立ちます。</p> <p>ゲストアカウントの残り時間は、スポンサーの現地時間ではなく、ゲストアカウントに割り当てられた特定の場所に関連付けられます。</p>

フィールド	使用上のガイドライン
SSID	<p>このフィールドは、システム管理者によって複数のSSIDが選択用に設定されている場合にのみ表示されます。1つのSSIDのみが設定されている場合、スポンサーポータルに使用できるオプションは1つのみであるため、表示されません。</p> <p>ゲストがログインするネットワークのSSIDを選択します。このSSIDは、ゲストに送信されるアカウント通知に含まれます。</p>
言語 (Language)	<p>このフィールドは、システム管理者によって複数の言語が選択用に設定されている場合にのみ表示されます。1つの言語のみが設定されている場合、スポンサーポータルに使用できるオプションは1つのみであるため、表示されません。</p> <p>アカウント通知（電子メール、テキストメッセージ、印刷）をゲストに送る際に使用する言語を選択します。</p>
アクセス情報：開始 (Access Information—From)	<p>最初のログインを表示して、ゲストがログインするまで開始および終了のタイムスタンプが設定されず、最初のログイン後にゲストアカウントが有効化されることを示します。[開始 (From)] フィールドは、すべてのゲストタイプとゲスト情報に適用できます（既知、ランダム、およびインポート）。</p>
アクセス情報：継続時間 (Access Information—Duration)	<p>ゲストアカウントに許可される最大継続時間が表示されます。</p>

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。